



バチカン勸進能


日本バチカン国交樹立75周年企画



能「翁」・復曲能「復活のキリスト」／能「羽衣」(金剛流)
宝生流第20代宗家 宝生和英／十四世 茂山千五郎／金剛流若宗家 金剛龍謹

2017年6月23日(金)19:00／24日(土)17:00
バチカン カンチェリア宮殿



主催 公益社団法人 宝生会 
共催 在バチカン日本国大使館
助成 文化庁／一般社団法人 東京倶楽部
後援 公益財団法人 日伊協会／上智大学／ローマ日本文化会館

日本は古来より様々な文化、そして信仰を理解し合い共存してきました。

これはまさに現代の世界の課題であり、次の時代への挑戦でもあります。

日本とバチカンの国交75周年を記念し、

日本の伝統芸能「能楽」の能「翁」を宝生流、能「羽衣」を宝生・金剛流による合同公演、そして宝生流の唯一のキリスト教演目である、復曲能「復活のキリスト」を上演することで、相互理解の精神をバチカン カンチェレリア宮殿より世界に発信します。

能「復活のキリスト」について

1957年にドイツ人宣教師ヘルマン・ホイヴェルス原作、17代宗家宝生宗家宝生九郎の演出で公演された宝生流唯一のキリストの演目。キリストの死後マグダラのマリアとヤコブの母マリアが墓にお参りに行くと、地震により壊れており、何者かに暴かれていた。無惨な様子に嘆く二人であったが、そこに甦ったキリストが現れ……。ヨハネの福音書20章より



能「翁」について

翁は「能にして、能にあらず」と言われている特別な演目。1000年前により演じられる能楽最古の演目で物語は無く、儀式を主とした能である。千歳が舞台を清め、翁が世界の平和を祈り、三番三が五穀豊穡を願う。日本では、特別な祝い事や、新年に流儀の宗家が舞う。



日本バチカン国交樹立75周年

バチカン勸進能

バチカン
2017年6月23日(金)19:00 / 24日(土)17:00
バチカンカンチェレリア宮殿

23日 / 能「翁」(宝生流)・能「羽衣」(金剛流)

24日 / 能「翁」(宝生流)・能「復活のキリスト」(宝生流)

能「翁」

翁: 宝生和英 千歳: 和久莊太郎(23日) 田崎甫(24日)
三番三: 茂山千五郎 面箱: 井口竜也 後見: 島田洋海

復曲能「復活のキリスト」

主: 宝生和英
マグダラのマリア: 和久莊太郎 ヤコブの母マリア: 田崎甫

能「羽衣」

天人: 金剛龍謹(金剛) 漁師白龍: 大日方寛

笛: 小野寺竜一 太鼓: 安福光雄

小鼓: 上田敦史/飯富孔明/清水和音 太鼓: 澤田晃良

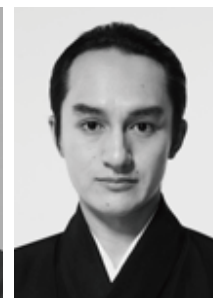
地謡/後見: 武田孝史/辰巳満次郎/野月聡/小倉健太郎/金森隆晋/
川瀬隆士/辰巳和磨/金井賢郎/宇高竜成(金剛)



宝生流第20代宗家
宝生和英



十四世
茂山千五郎



金剛流若宗家
金剛龍謹

バチカン勸進能 応援ツアー開催!

バチカン勸進能の開催を祝し、日本より鑑賞ツアーをご用意しました。能楽鑑賞はもちろん、「復活のキリスト」の装束を間近で観る事の出来る特別レセプションを宝生和英と金剛龍謹の対談と共に楽しみ頂けます。詳細は別紙を参照ください。

JTB日本バチカン国交樹立75周年バチカン勸進能 応援ツアー 6月20日発7日間、22日発6日間

問い合わせ先: 宝生能楽堂 Tel: 03-3811-4843

舞台監督: 沢井 敦治 (mihoproject)

舞台技術: 乃村 健一 (mihoproject)

ツアーコーディネーター: 武智 美保 (mihoproject) info@mihoproject.com